

- 初めての「話すための」英文法
- 話せる英語を最速で達成するためには、システムを理解しなければならない。
- 話すための必須文法事項は以下4つ。

- A. 基本文型
- B. 修飾方向
- C. 配置転換
- D. 時表現

A. まずは4つの基本文型を知る—英語は配置のことば

他動型：	主・動・目	→力を及ぼす
自動型：	()	→単なる動作
説明型：	()	→主語の説明
授与型：	()	→手渡し

- 英語は配置を変えると意味が変わってしまうため、基本文型は文の設計図である。

ex) Mary loves John *Loves Mary John.

メアリーをジョンは愛しています。 愛しているんだよ、ジョンはメアリーを

Q: John XXX her a necklace. の意味は？

ネイティブには見当がつくのはなぜ？

B. 修飾方向を身に着ける

- 修飾のテクニックは () に置くかそれとも () に置くか。

That is a red sweater. : () に置く修飾語は、() の働き

That sweater is red. : () に置く修飾語は () の働き

1. 限定ルール (前から限定)

- 前からの修飾はターゲットを限定するように働く。

Nancy is very tall. : 二重線は、() 詞

I found the dog. : () 詞

She may be ill. () 詞

The United States is an English-speaking country. () 詞

2. 説明ルール(後ろから説明)

ターゲットに説明を加えるとき、常に後ろに追記する。
パーティーを開く。Savoy ホテルで。18:00 から。明後日。
→英語にすると・・・

We're having a party _____

3. 穴埋め修飾（「後ろからの説明」の一種）

This is the boy Nancy loves □.

C. 配置を崩してみるー配置転換

配置転換ルール：「配置が動かされるときには、感情・意図がある」

a. 疑問文：Are you a student?

b. 感嘆文：_____ = I am really surprised.

_____ = You have a nice camera.

c. 「昨日、パーティーをした」の「昨日」をハイライトすると・・・

D. 時表現をマスターする

1. 時は感覚で（距離感で考える）

遠く離れた：（ ）形

包み込む：（ ）形

迫ってくる：（ ）形

a) I ate alligator tails.

b) I've eaten alligator tails.

→a) と b)の違いは？

2. 時表現のさまざまな用法

・時表現のマスターのためには、それぞれの時表現がもつ基本的な感覚につなげて身に着けること。

ex) 現在完了の用法「a)直近の出来事, b)経験, c)継続, d)結果」は、全て「迫ってくる」から生まれた使い方

a) It has stopped raining.

b) I have visited London.

c) We have been friends for a long time.

d) Can I talk to Cathy? --- She has gone shopping.